

インドネシアの知的財産侵害事例

知的財産総局と税関、偽ブランド品の流通防止のため登録監視を強化(2025.11.27)

知的財産総局と税関は協力し、偽ブランド品や無許可ブランド品がインドネシアに流入するのを阻止する取り組みを強化する。ブランド所有者に対し、税関への真正商標の登録を促している。この無料手続きは、税関職員が国境で偽造品を容易に見分け、阻止するのに役立つ。登録がなければ、税関は正規品を識別するための基準がないため、有名ブランドであっても十分な保護を受けることができない。知的財産総局はまた、商標の不正使用に対する法執行は親告罪、つまりブランド所有者が正式な報告を提出した場合にのみ措置が開始されると説明している。したがって、ブランド名を不正に使用した商品の流通を阻止するには、登録と積極的な報告の両方が重要となる。

<https://mediaindonesia.com/politik-dan-hukum/834572/diki-dan-bea-cukai-perkuat-pengawasan-regulasi-untuk-cegah-peredaran-barang-bermerek-tanpa-hak>

有名石鹼ブランド模倣で売上高10億ルピア、ブカシ在住の女性を逮捕(2025.11.27)

ブカシ在住の46歳の女性が、偽造液体石鹼を製造した容疑で警察に逮捕された。リンソ、モルト、サンライト等の有名石鹼ブランドの偽のステッカーを容器に貼って販売していた疑い。通報を受け、警察はブカシ市ポンドック・メラティにある小さな石鹼工場を摘発。彼女は約20人の従業員を雇用し、偽造石鹼をEコマースで販売していた。約3~4ヶ月で、総売上高は約10億ルピアに達していた模様。警察はインドネシア消費者保護法に基づき彼女を起訴した。最長5年の懲役、または最高20億ルピアの罰金を科せられる可能性がある。

<https://kumparan.com/kumparannews/jiplak-merek-merek-sabun-terkenal-sampai-omzet-rp-1-m-wanita-di-bekasi-dicokok-26F7CKKadxq>

中央ジャワ警察、模倣品バッグ、サンダルを押収(2025.11.11)

中央ジャワ警察は、著名アウトドアブランドEigerの模倣品を捜査中。2024年3月にPT Eiger Multi Produk Industriが中央ジャワ警察に被害を訴えたのが引き金になった。3421足の模倣サンダル、2326個の模倣バッグをソロで発見。模倣品の値段は15000~20000ルピアで、真正品の値段18万ルピアに比べて格段に安い。

<https://www.detik.com/jateng/hukum-dan-kriminal/d-8206215/dugaan-pemalsuan-tas-sandal-merek-eiger-polda-jateng-tetapkan-4-tersangka>

CIMB Niaga銀行による著作権侵害問題は今なお未解決(2025.11.10)

CIMB Niaga銀行が2020年に29か所の顧客ラウンジで楽曲「Bentuk Cinta」を無許可で使用した問題で、銀行側はすでに法的な責任は果たしたとしているのに対して、著作権者の代理人は銀行側は2023年に対してのみ手続きを行ったにすぎず、それ以降の年については未だに使用料が見場合であると指摘。権利者と使用者の間に誤解があるとし、今後連絡を密にする必要性を強調した。

<https://mediaindonesia.com/politik-dan-hukum/829003/ini-tanggapan-cimb-niaga-soal-dugaan-pelanggaran-hak-cipta-lagu-eclat-story>

国軍チアンジュール司令部が秘密の倉庫を捜索、模倣オイルを押収(2025.11.2)

2025年10月31日西ジャワ州チアンジュール地方司令部はプンチャックの倉庫から3500個の模倣潤滑オイルを押収した。Shell、Pertamina、Honda、Yamaha等の著名ブランドを付して真正品のように見せかけて販売されていたもので、これらの使用により、エンジンに支障を来す恐れがある。容疑者は逮捕され、今後警察に引き渡されて取り調べを受ける。

<https://bewaracianjur.com/ribuan-oli-palsu-disita-di-cianjur-kodim-0608-gerebek-gudang-rahasia-di-puncak>

西スラウェシ州の模倣オイル問題は5ヶ月経過後も未解決(2025.10.21)

西スラウェシ州のポレワリマンダルで、2025年5月末1200箱を超える模倣エンジンオイルが警察により押収された。著名なブランド品を模倣したもので、混合して再包装する過程であったもの。押収から5ヶ月経過したが、容疑者の責任は追求されておらず、地元の市民らは警察に対して厳しい視線を向けている。模倣オイルは、エンジンの故障に繋がるおそれがあり、消費者保護法、商標法、工業基準法等複数の法律に触れる可能性がある。模倣オイルが押収された倉庫は地元の有力者に関連する施設であるとして、地元市民は事件がうやむやになるのではないかと危惧している。

<https://kilassulbar.id/kapolda-sulbar-diminta-tuntaskan-kasus-oli-palsu-wonomulyo-lima-bulan-tanpa-tersangka/>

フェデラル・オイル、ジャンビ州で模倣オイル販売業者に対し厳正な措置(2025.10.17)

フェデラル・オイルは、ジャンビ州レッドパアルのJalan A.R. Saleh通りにある住宅兼事務所で、模倣エンジンオイル「Federal Ultratec」30箱が販売されていた業者を摘発した。この模倣品は仕様に準拠しておらず、PT ExxonMobil Lubricants Indonesia(EMLI)製のものでもない。関係者は不正行為を認め、公に謝罪した。フェデラル・オイルは消費者の安全確保への取り組みを改めて表明し、購入者に対しQRコードによる真贋確認を促し、今後の違法流通防止のため当局と連携していくと表明した。

<https://otomotif.katadata.co.id/news/federal-oil-tindak-tegas-pengedar-oli-palsu-di-jambi-20704>

Vidio.com、アチェ州のカフェ19軒に対する著作権侵害告発を取下げ(2025.10.3)

Vidio.comは、サッカーの試合（イングランド・プレミアリーグおよびUEFAチャンピオンズリーグ）を無許可で放送していたとして告発していたアチェ州のカフェ19軒（ワルコップ）に対する告発を取下げた。これにより、アチェ州警察による捜査は、正式に終了した。この告発取下げは、観光・創造経済大臣と地方議員による調停を経て行われたもの。警察は、権利のないコンテンツの公共放送は、インドネシア著作権（放送権）の侵害に当たると強調しました。

<https://www.tempo.co/hukum/vidio-com-cabut-laporan-pelanggaran-hak-cipta-19-warkop-di-aceh-2075822>

商標Pioneer CNC Indonesia侵害され怒り収まらぬ商標権者(2025.7.22)

金属加工装置を製造販売するPT.Pioneer CNC Indonesiaのフレディ・ナスティオン社長は、商標侵害の疑いでシャイフル・アディムがマラン警察に逮捕されたのを受けて、「法的手続きは特定の人物の逮捕だけでは終わらない。誠意を示さなければ、技術者から製造オペレーターまで、関係者全員を法の裁きを受けさせる。」と断言した。シャイフルの逮捕は、違法CNCマシンの流通を担う犯人ネットワークの摘発への道筋を開いた。偽造マシンが製造されていた倉庫は、以前警察の強制捜査を受けていた。シャイフル氏は現在拘束されている。

<https://timesindonesia.co.id/hukum-kriminal/547424/kasus-pemalsuan-merek-pioneer-cnc-berpotensi-adalah-sangka-baru>

知的財産総局と国際知的財産協会(IIPA)が知的財産エンフォースメントの強化について協議(2025.9.18)

2025年9月18日、インドネシア知的財産総局(DGIP)と国際知的財産協会(IIPA)は、ジャカルタで戦略的対話を行った。協議は、米国大使館が橋渡しとなり、インドネシアにおける知的財産エンフォースメントの強化を目的とした。DGIPは、過去5年間で2,356件以上の侵害ウェブサイトをブロックしたこと(2025年だけで9月中旬までに640件)、2019年以降、調停を通じて128件の知的財産紛争を解決したこと、ライブストリーミング違反に対するリアルタイム削除システムを導入したことなど、主要な成果を強調しました。また、DGIPは税関や警察との連携を強化し、化粧品、タバコ、スペアパーツなど、数百万点に及ぶ偽造品を押収した。韓国の放送局MBCが関与する著作権侵害への対策として、インテル・ポール韓国支局および釜山警察との国際協力も拡大された。IIPAはインドネシアの進展を称賛し、海賊版や模倣品への効果的な対策として、より迅速な執行メカニズムとより強力な刑事訴追の必要性を強調。

<https://www.dgip.go.id/artikel/detail-artikel-berita/djki-dan-iipa-bahas-penguatan-penegakan-hukum-kekayaan-intelektual?kategori=liputan-humas>

商標侵害で、飲料水詰替業者が法的問題に直面(2025.4.21)

2025年4月21日中部カリマンタン州カプアスでABNと名乗る50歳の男性が、商標権侵害の容疑で逮捕された。ABNは、商標権者であるPT Bandangantirta Agungの許可を得ず、「Prof」という商標で詰替用飲料水を販売していたところを逮捕された。警察は充填済みの水96ガロン、空のガロン容器200本、そして違法行為に関連する機器を押収した。この事件は同社の代表者によって報告され、ABNはさらなる法的手続きをために拘留された。

<https://www.metrokalimantan.com/2025/04/dari-galon-ke-jeruji-besi gegara.html>

大物歌手の遺族が著作権料の支払いを求めて大手レコード会社を告発(2025.9.9)

2024年7月に音楽家Benyamin Suebの遺族がSuebが残した517の楽曲の著作権侵害に係る告発を受け、ジャカルタ首都警察は捜査を続けている。2002年から2007年にかけてSuebの長男が大手レコード会社GNPと契約を交わしたことに対し端を発する。長男もGNPの責任者も他界して以来、著作権使用料の支払いが滞っていたもの。

<https://megapolitan.kompas.com/read/2025/09/09/13195161/polisi-usut-laporan-dugaan-pelanggaran-hak-cipta-lagu-benjamin-sueb>

法務省、ECサイトに著作権侵害通報窓口の設置を提案(2025.8.20)

インドネシア法務省知的財産総局は、電子取引サイトを運営するPT Shopee International Indonesia(Shopee)に対し、著作権侵害専用の通報窓口を設置するよう提案した。2025年8月20日に行われたこの協議では、ECプラットフォームの責任に関する2023年の憲法裁判所判決に基づく対策を議論。知的財産総局捜査局長であるアリー・アルディアン氏は、ECプラットフォームが著作権を遵守するための戦略的な一歩であると評価。侵害の報告と対応を迅速に行うため、捜査局と繋がる通報窓口を設置することを提案。Shopeeはこれに前向きに応じ、知的財産総局からの正式な要請があれば対応することを約束した。

<https://www.antaranews.com/berita/5055857/kemenkum-usul-shopee-buat-kanal-pelaporan-pelanggaran-hak-cipta>

法務省ジャワ地方支局、著作権侵害事件を平和的に解決(2025.8.8)

法務省ジャワ地方支局はバンドンにて著作権音楽の無断使用に関する紛争の調停をまとめることに成功した。調停は2025年7月7日、西ジャワ州法務省法律サービス課長、調停人、知的財産捜査官、及び紛争当事者が出席した。同課長は「調停とは誰が正しいか間違っているかを判断することではなく、正義を実現し、双方にとってwin-winとなる解決策を実現することである」と強調した。調停人は、自身の中立的な役割を説明し、当事者間のコミュニケーションを促進し、公平な立場で解決策を見出す手助けをした。この調停の成功は、西ジャワ州法務人権省が知的財産法を遵守し、平和的かつ公平な紛争解決を促進するというコミットメントを示すものである。

[Kanwil Kemenkum Jabar Sukses Mediasi Pelanggaran Hak Cipta, Capai Kesepakatan Damai](#)

インドネシア著名デザイナーが模倣業者に対抗(2025.7.6)

イスラム教徒の富裕層向け服飾デザイナーであるVivi Zubediは、自身のブランドを模倣する業者に対して立ち上がった。2023年より低価格の模倣品が出回っていることに対する顧客からの苦情を受けていたのに呼応したもの。知的財産総局捜査局は2024年11月よりZubediの被害届を受け、現在被疑者の特定が進んでいる。

<https://www.liputan6.com/lifestyle/read/6097928/desainer-vivi-zubedi-perangi-pemalsu-produknya-1-orang-jadi-tersangka-dan-akan-bertambah?page=4>

有名フランチャイズレストランが著作権侵害

2024年8月26日、バリ警察はインドネシア音楽版権センター(SELMI)の被害届を受理した。フランチャイズレストラン「Mie Gacoan Bali」を運営するPTMitra Bali Suksesは、店内で流す音楽のロイヤルティを支払っていないという苦情である。被害額は何十億ルピア(何千万円に相当)にのぼるという。2025年1月20日捜査当局は運営会社の責任を認めた。

<https://news.detik.com/berita/d-8021367/direktur-mie-gacoan-bali-jadi-tersangka-ini-kasusnya>

無断楽曲使用で2億5000万の損害賠償請求

作曲家Budi Pekertiは、歌手Vidi Aldianoを相手取って、245億ルピア(約2億5000万円)の損害賠償を求める訴訟を起こしている。Rudiの曲"nuansa Bening"を2008年から無許可で31回のコンサートで使用したもの。

<https://www.tempo.co/hukum/duduk-perkara-vidi-alidano-digugat-keenan-nasution-soal-royalti-lagu-nuansa-bening-1654503>

人気歌手、楽曲の無断使用で損害賠償(2025.2.6)

中央ジャカルタ商務裁判所は2025年1月30日、歌手Agnes Monicaにたいして15億ルピア(約1500万円)の損害賠償金を作曲家Ari Biasに対して支払うよう命じる判決を下した。Ariの楽曲"Bilang Saja"を無断でコンサートで使用したため。Agnes側は最高裁に上告している。

<https://www.tempo.co/teroka/duduk-perkara-kasus-royalti-lagu-antara-agnez-mo-vs-ari-bias-1203603>

商標「DENZA」取消訴訟は当事者不適格のため却下(2025.5.5)

中国の電気自動車メーカーBYD COMPANY LIMITED(原告)は、インドネシアの食品会社PT Worcas Nusantara Abadi(被告)の同じ類で登録した商標「DENZA」(登録番号IDM001176306)が原告が所有する著名な商標「DENZA」に類似しており、悪意に出願よりされたので、取消されるべきであると中央ジャカルタ商務裁判所に訴えていた。(1/Pdt.Sus-HKI/Merek/2025/PN.Niaga.Jkt.Pst)

これに対して裁判所は、登録商標IDM001176306がすでに他者(PT Raden Reza Adi)に譲渡されているため、被告は当事者不適格であるとし、訴えを却下した。

<https://oto.detik.com/mobil/d-7899582/gugatan-byd-soal-merek-denzo-ditolak-pengadilan>

商標「INDAH LOGISTIK」事件(2025.4.29)

2025年4月10日、宅配業者PT INDAH LOGISTIK(原告)は、スラバヤ商事裁判所に対し、CV. INDAH CARGO DAN TRAVEL MALANG(被告)が所有する第39類商標「INDAH cargo Malang + Device」(

IDM000524392)の登録取消を訴えた。これは、同類の原告商標「INDAH + device」(IDM000431199)と類似しているためである。被告社長は原告の元従業員。

原告は以前、自社の商標の侵害を警察に通報していたが、被告も自社の商標を登録したため、刑事訴訟は一旦停止されていた。



原告商標IDM000431199



被告商標IDM000524392

<https://radarmalang.jawapos.com/nusantara/815941052/dua-perusahaan-logistik-di-surabaya-terlibat-sengketa-merek>

商標「M6」事件(2025.3.9)

2025年2月26日、BMW AG(原告)は中央ジャカルタ商務裁判所に対し、以下の訴えを提出した(事件番号19/Pdt.us-HKI/Merek/2025/PN Niaga Jkt.Pst)

- 1)原告は商標「M6」(IDM000578653)の正当な所有者である旨を表明すること。
- 2)BYD COMPANY LIMITED(被告)に対し、原告商標(M6)と類似する商標「BYD M6」(登録番号DID2024122107)の使用を中止するよう命じること。
- 3)BYD COMPANY LIMITED(被告)に対し、原告商標(M6)と類似するすべての商品および製品を引き渡すよう命じること。

2025年5月19日現在、本件は審理中。

<https://oto.detik.com/mobil/d-7814006/isi-tuntutan-bmw-ke-byd-indonesia-soal-penggunaan-nama-m6>

商標ポロ、ラルフローレンは誰のもの？(2025.4.21)

PT Manggala Putra Perkasa(以下MPP)は、以下の商標を取得していた。

NAVYPOLORALPHLAUREN



IDM000031864

IDM000099368

(登録日1995年1月23日)

(登録日1999年11月15日)



IDM000274575

IDM000646948

(登録日2008年4月8日)

(登録日2017年6月6日)

NAVIPOLORALPHLAUREN



IDM000636356

IDM000556307

(登録日2015年5月20日)

(登録日2015年5月20日)

これに対して、2022年8月22日Mohindar HB(以下Mohindar)は、自身が1986年10月1日、商標「POLO BY RALPH LAUREN」の商標権者John Whiteleyから譲渡を受けたのであるから、同商標の権利は自身にあり、MPPの商標が自身の商標に便乗する悪意を持った商標であるとして、MPPの商標の取消を求める訴訟を中央ジャカルタ商務裁判所に起こしていた。2022年10月25日、裁判所はMohindarの主張を認め、MPPの商標を全て取消すよう判決した。また、MPPは2024年5月28日最高裁に上告したが、最高裁は原判決を支持した。

ところが、その後MPPは1995年8月18日中央ジャカルタ商務裁判所が商標173934号の取消を決定したことを発見。同判決は2001年6月14日に確定していた。MohindarによるMMPの商標権取消の訴えはその根拠が存在しなかったことになる。

2023年1月9日、MPPはMohindarを公文書偽造の理由でインドネシア国家警察に告発した。Mohindarは2025年4月時点なおも指名手配の対象となっている。

Mohindarの弁護士によれば、そもそも商標「POLO BY RALPH LAUREN」は1982年11月20日にJohn Whiteleyが出願し、1983年7月5日に登録された。その後1986年10月1日、Mohindarは商標「POLO BY RALPH LAUREN」をJohn Whiteleyから譲渡を受け、その後1993年、2003年、2013年、2023年に更新登録されている。



IDM2022061182

(登録日2023年12月21日)

ユーチューバー家族、替え歌による著作権で損害賠償訴訟に敗れる(2025.3.25)

Lagi Syantikはインドネシアで著名な楽曲であり、PT.Nagaswara Publisherindo(以下、PT.Nagaswara)が著作権者である。一方Gen Halilintar一家は両親と11人の子供からなる著名なユーチューバーであり、2018年11月15日に自身のユーチューブチャンネルにて、Lagi Syantikの替え歌を発表した。

PT.Nagaswaraはこれに異議を申し立て、2020年1月29日、中央ジャカルタ商務裁判所に訴え出て、Gen Halilintar一家に罰金の支払いと、95億ルピア(約9500万円)の損害賠償を求めた。

これに対して中央ジャカルタ商務裁判所は、Gen Halilintar一家が替え歌によって金銭的な利益を得ていない等を理由にPT.Nagaswaraの訴えを棄却した。

これを受けてPT.Nagaswaraは2021年6月2日に最高裁に上告した。2021年11月15日、最高裁は以下のように判決した。

- 1) Gen halilintar一家による替え歌は、著作権者の了承なしに作られ、頒布された。このことは著作権法第9条第1項d号、h号、及び第2項に抵触する。
- 2) 著作権者の許可なしに著作物の電子的に複製頒布することは、著作権法第9条第1項da号、b号、e号及び第3項に該当する。
- 3) したがって、Gen Halilintar一家に3億ルピア(約300万円)の損害賠償を命じる。

著作権法

第9条

(1) 第8条に規定する著作者または著作権者は、以下の経済的権利を有する：

- a.著作物の出版；
- b.あらゆる形態での著作物の複製；
- c.著作物の翻訳；
- d.著作物の適応、アレンジ、改変；
- e.著作物またはその複製物の配布；
- f.著作物の表示；
- g.著作物の発表；
- h.著作物の伝達；および
- i.著作物のレンタル。

(2) 第1項に規定する経済的権利を行使する者は、著作者又は著作権者の許可を得なければならない。

(3) 著作者または著作権者の許可なく、著作物を複製および/または商業的に使用することは禁じられる。

最高裁、GSユアサの便乗商標登録を取消す(2025.2.12)

バッテリーの著名メーカーであるGS Yuasa CorporationはインドネシアのHarijanto Supraptoと知的財産総局審判委員会を相手取り、登録商標GSP (IDM000637375)が原告の著名商標に主要部が類似しているとして、その取消を求める訴訟を中央ジャカルタ商務裁判所に起こした。(2019年11月28日)



被告の登録商標IDM000637375

原告は、原告商標が著名である以外に、被告が原告の商品に酷似した商品を販売している証拠を提出した。

Produk Milik Penggugat	Produk Milik Perusahaan Tergugat
	

これに対して、中央ジャカルタ商務裁判所は、被告商標は適法に登録されたとし、原告の商標登録に悪意は認められないとして、原告商標と被告商標は類似せず、消費者を混同させる恐れもないとの判断を下し、被告が模倣の証拠として提出した商品の出所が被告であるとは認めず、原告の訴えを棄却した。(2020年3月17日)

原告はこれを不服として、2020年3月30日最高裁に上告した。最高裁は、GSユアサの商標は著名商標である、被告商標は原告商標と主要部が類似している、被告の出願には悪意が認められるとして、被告登録商標を取消すべしとの判決を下した。

エクソンの模倣商標が最高裁で登録復活(2025.2.10)

世界的に著名な石油会社であるエクソンモービルは、その旧ロゴを模した商標出願(D002005013104)をしたインドネシアの業者Lie Wie TjungとLie Ndo Hendra Rochillyならびに知的財産総局を相手取つて、商標登録の取消を求める訴訟を中央ジャカルタ商務裁判所に起こしていた。



エクソンの商標出願

D002016051542



Lie Wie Tjungらの商標出願

D002005013104

エクソンはこのロゴマークを戦前から使用していた<https://1000logos.net/exxonmobil-logo/>が、インドネシアにおいては、D002005013104が先願となる。

知的財産総局は、先願商標であるD002005013104と類似しているとの理由で、D002016051542を拒絶した。エクソンはそれを不服として審判請求するが、同じ理由で拒絶される。

2022年12月22日、エクソンはD002005013104が3年間連續して使用されていなかったことを根拠に商標登録の取消を求める訴訟を中央ジャカルタ商務裁判所に起こしていた。裁判所はエクソンの訴えを一部認め、D002005013104から一部の商品の削除を命じる判決を下した。

しかし、エクソンはそれらの商品の削除だけでは不十分として、2023年6月23日最高裁判所に上告した。

これに対して、最高裁判所はエクソンの訴えが、審決に対する不服(商標法30条3項)ではなければならないのに、直接商務裁判所に不使用による取消を請求している点に手続き上の瑕疵があったとし、商務裁判所の判決を全面的に取り消すことを命じた。これにより、D002005013104は全商品に対する登録が復活した。

民族衣装サルン商標「Gajah Dduduk」で泥仕合(2025.1.23)

インドネシアではサルンと呼ばれる腰巻がよく着用されている。ピシッとスーツで決めたビジネスマンも、祈祷の際にはサルンを着用する。インドネシア人であれば誰でも1枚は持っているサルン。このサルンの商標をめぐり、2つのインドネシア企業が泥仕合を繰り広げている。

中央ジャワ州のプカラガン地方裁判所は2023年5月23日、PTピスマ・アバディ・ジャヤ(以下PAJ)役員に商標権侵害の罪で禁固1年6ヶ月、罰金10億ルピア(約1000万円)の判決を下した。PAJ役員の上訴

に対し、スマラン高等裁判所は地裁の判決を支持(2023年10月18日)侵害された商標はPT.Gajah Duduk(以下GD)の商標「Gajah Duduk」IDM000529383。



Gajah Duduk®

GDは1972年創業のサルンの老舗で、全国的に知られている有名ブランド。後発のPAJは1400億ルピア(約14億円)でGDの資本と商標権を購入したと主張、GDの商標権は今やPAJのものであるから侵害は成立しないと反論している。しかし、GDに属していた商標権のPAJに対する譲渡手続きは、方式要件が満たされていないため未完。したがって、商標局での記録においては、商標権者はGDのまま。

<https://www.renchmark.co.id/dompleng-merek-sarung-legendaris-gajah-duduk-berujung-pidana/>

小麦粉商標「Bogasari」侵害事件 (2025.1.17)

PT Indofood(インドフード)はインドネシアの最大手食品会社である。同社は2024年11月6日の記者会見にて、同社所有する商標「Bogasari」の侵害品31トンが押収されたことを発表した。

ボガサリ小麦粉の模倣品は約3年間にわたり、バンドン、チマヒ、スメダンを含むバンドン地域で流通していた。西ジャワ州警察は模倣品の小麦粉約31トンを押収することに成功した。

最も侵害品の多いブランドはセギティガ・ビルで、約800袋、20トン。セギティガ・ビル小麦粉は、中力粉に属し、さまざまな種類の食品に使用でき、一般の人々に広く消費されている。パンや麺類の製造に特化した強力粉のチャクラ・ケンバー・ブランドのボガサリ小麦粉の侵害品は約200袋押収された。

模倣業者は、原価167,000ルピアである侵害品の小麦粉を203,500ルピアで販売し、不当な利益を貪っていた。

インドフードのスポーツマンは、ボガサリ小麦粉の顧客に対し、包装、シール/電子クーポン、内容物の品質を精査してから購入するよう呼びかけた。「一般の人々は、1袋の包装に貼付された電子クーポンラベルと袋の縫い目から、ボガサリ小麦粉製品の真正性を確認することができる。本物のボガサリ小麦の縫い糸は、紫外線ランプで照らすと光るが、縫い糸が光らないのは偽物です。」

<https://tribratanews.jabar.polri.go.id/polda-jabar-bongkar-pemalsuan-tepung-terigu-bogasari-indofood-apresiasi-kerja-cepat-polisi/>
